今号の内容
1面　神戸大ローカル（入学式・新規格寮など）
2面　総合文化（重油ボランティアなど）
3面　特集・インカレサークル総覧
4面　総合文化・スポーツ（就職・アメフットなど）

神戸大学ニュースネット
NEWS NET
©神戸大学ニュースネット委員会
関西学生報道連盟共同編集室＝〒532 大阪市淀川区西中島2-4-18-301
4月号

どこよりも安く…がモットーです
■安心できる低価格
マッキントッシュの採用でムダを徹底的になくした結果の安心価格です。
■例えばこんなものをご用命下さい。
・パンフレット・部誌
・プログラム・新聞
・チラシ・チケットetc.
見積り依頼大歓迎！
■印刷のスーパー工房 ムーゼン
箕面市桜井1-1-3
TEL 0727（22）9795

神戸大と二七二〇人との出会い

入学式 葉桜の中、「生涯の仕事のスタート」

大学院総合人間科学研究科も月末に新参

平成九年度神戸大学入学式が四月八日、神戸ポートアイランドホール（ワールド記念ホール）で行われた。

入学者数は、十学部で合計二千七百二十人。学部別では、文学部百十七人、国際文化学部百四十二人、発達科学部二百八十人、法学部二百四十三人、経済学部二百九十人、経営学部二百八十二人、理学部百五十五人、医学部二百六十人（うち医学科百人、保健学科百六十人）、工学部六百二十二人、農学部百八十五人。夜間主コースでは法四十一人、経済四十八人、経営五十五人が入学した。

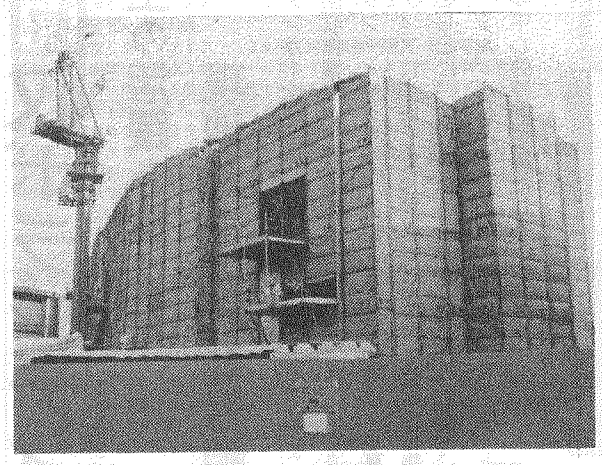
西塚泰美学長は「皆さんには若いが故の特権として、率直で正しいことを求める共通の心があります。どうかそれを大切にし、自信をもって皆さん自身の新しい価値観を築き上げ、失敗をおそれないで生涯の仕事のスタートをきってほしいと願っています」と述べた。

前日までぐずつき気味だった天気も入学式当日は回復し、葉桜も見える中スーツ姿の新入生には緊張した様子が漂っていた。

経済学部に入学したアメリカ・ニューヨークの高校出身という梅田哲平さんは「大学四年間でできるだけ多くの友達を作りたい。今日もこれからコンパに行くつもりです」と早くも大学生活に意気込んでいた。

なお、今年の四月より新たに大学院に「総合人間科学研究科」ができる。今月末には新たに研究科生百三十人が入学する予定。

緊張と喜びにつつまれたワールド記念ホール（四月八日撮影）


計八期工事のうち第一期工事のB棟が竣工（三月二十五日撮影）

新「住吉寮」工事進む

全室個室、留学生にも配慮

神戸大の住吉寮、国維寮および女子寮に代わるものとして七棟の建設を計画している新規格寮「住吉国際学生宿舎」の工事が着々と進み、計八期工事のうち第一期工事としてのB棟が三月二十五日、竣工した。

B棟の総面積は二千九百二十平方メートル。百三十六人が収容でき、このうち留学生を四十一人入れる。建設費は八億四千九百万円。

七棟全部の収容人員は計千六十人。このうち留学生百人を入れ、日本人と区別せず混住させるという。また標示板や案内板にも日本語と英語を併記する。

特徴として、これまで男子は二人部屋、女子は四人部屋であったものが、個室となった。部屋の広さは約十一平方メートルで、ベッドやデスクなどがつく。またトイレとキッチンもつくようになったが、これにより旧寮にあった食堂は、新規格寮ではなくなる。寮生の寄宿料は旧寮で月七百円だったが、新企画寮では月三千三百円となる。また洗濯などにはプリペイドカードを用いて料金計算する。

なお、第四期工事が終わった時点で住吉寮と国維寮が、第五期工事終了で女子寮がそれぞれ廃寮となる予定。

卒業式 二六六〇人の旅立ち

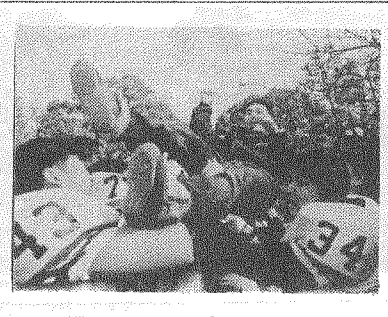
国文・発科で初の卒業生

三月二十五日、平成八年度卒業証書・学位記授与式が神戸ポートアイランドホール（ワールド記念ホール）で行われた。

今年度は合計二千六百六十人が卒業。また国際文化学部、発達科学部は初めての卒業生を送り出した。

学長式辞では、西塚泰美学長が「自信をもって普遍的な『新しい価値の創造』を目指してほしい」と卒業生に呼びかけた。

大学院修士課程修了生代表として答辞を述べた萩和子さん（69）



ばんざーい 前期試験合格発表

三月十日の前期合格発表では二千五十八人が合格した。合格番号が掲示されると、友達どうしで抱き合ったり、胴上げされる受験生が目に付いた。

合格した岡田健司さんは「国公立一本だったのでうれしい。大学ではオーケストラをしたい」と話した。

電子メール用ID 全学生に発行へ

総合情報処理センター

総合情報処理センターでは、平成九年度より電子メール用のIDを全学生に発行することになった。学生証持参の上で同センター分館にてIDとパスワードを配布する。日時により配布対象者が決まっている。

この交付を受けない場合、情報処理教育の授業が受講できない場合があるという。

配布日程
（午前は九時から正午まで、午後は一時から四時半まで、なお夜間主コース、第二課程は十六日のみ午前であとは午後に受け付ける）
▽十四日
午前　大学院（自然科学研究科）
午後　養護教諭特別別科
▽十五日
午前　大学院（自然科学科以外）
午後　発達科学部
▽十六日
午前　工学部（建築・電気・機械学科）
午後　工学部（建築・電気・機械学科以外）
▽十七日
午前　文学部、理学部
午後　国際文化学部
▽十八日
午前　農学部、法学部
午後　経済学部
▽二十一日
午前　医学部、医技短大学部
午後　経営学部
▽二十二日～二十五日
配布予備日

神戸大OG、女性で国内初のジャンボ機操縦免許取得

女性として国内で初めての旅客機パイロットを目指す、神戸大の卒業生で現在日本航空に所属する東友子さんが、ジャンボ機の操縦士免許を取得。三月二十七日から定期旅客便に乗り、路線訓練を始めた。

東さんは、神戸大工学部の環境計画学科を平成三年三月に卒業。その後大学院工学研究科を平成四年に中退、運輸省航空大学校に進み、平成六年七月に卒業、日本航空に入社した。

これまでは地上での旅客業務や基礎・応用課程の訓練を行った。今後は、定期旅客便で機長や副操縦士の仕事ぶりを見学して、四月下旬頃からは、実際に副操縦士席に座って機長をサポート。九月頃には副操縦士としてデビューする予定。

伏流水

「災害をのりこえた皆さんです」。西塚学長が卒業式に述べた式辞の一節▼もとは「震災を克服した皆さんです」というくだりの文章だった。▼阪神・淡路大震災から二年以上経つが、地元神戸ですら記憶が薄れかけている。「震災」という、特別な意味合いをもつ言葉が、「災害」という、「震災」から比べればごくありきたりの表現になってしまったことが残念な気がする▼三年生になった私は、当時の神戸大を知っているわけではない。しかし、今年の一月に震災特集として被災下宿を一軒ずつ訪問した時にはまるで目の前に当時の様子が再現されるように私に迫ってきた。夢にまで出てきたくらいだ。▼それを思えば、なぜあえて「災害」という表現にしなければならなかったのか。今一度考えてみる必要がある。

http://www.threeweb.ad.jp./~unnnews
本紙情報をインターネットで詳報！
関西学生報道連盟